

1 3 地区の排水ポンプを運転し、琵琶湖沿岸の浸水被害の防止軽減を図っています。（第1報）

（概要）

独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所は、5月10日からの大雨の影響により洪水警戒体制に入りました。

この大雨により琵琶湖流域の降雨量は約170ミリに達し、琵琶湖水位が上昇したことから琵琶湖に流れ込む河川の排水をスムーズに行うため、同11日から次のような対応を行っています。

- 1 樋門等の閉操作（琵琶湖の水が逆流しないようにするため）
- 2 排水機場のポンプ運転（琵琶湖に流れ込む河川の排水をするため）

排水機場の位置及びポンプ運転をしている排水機場については、別添を参照して下さい。

なお、上記の操作を行ったことから、5月13日11時時点で琵琶湖の水位プラス56cmに対して、早崎地区においては河川の水位をプラス16cmとする効果がありました。（数値は速報値です。）

この対応は、琵琶湖の水位が常時満水位（プラス30cm）になるまで続ける予定です。

平成23年5月13日



独立行政法人 水資源機構
琵琶湖開発総合管理所

発表報道機関

滋賀県報道機関

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 琵琶湖開発総合管理所

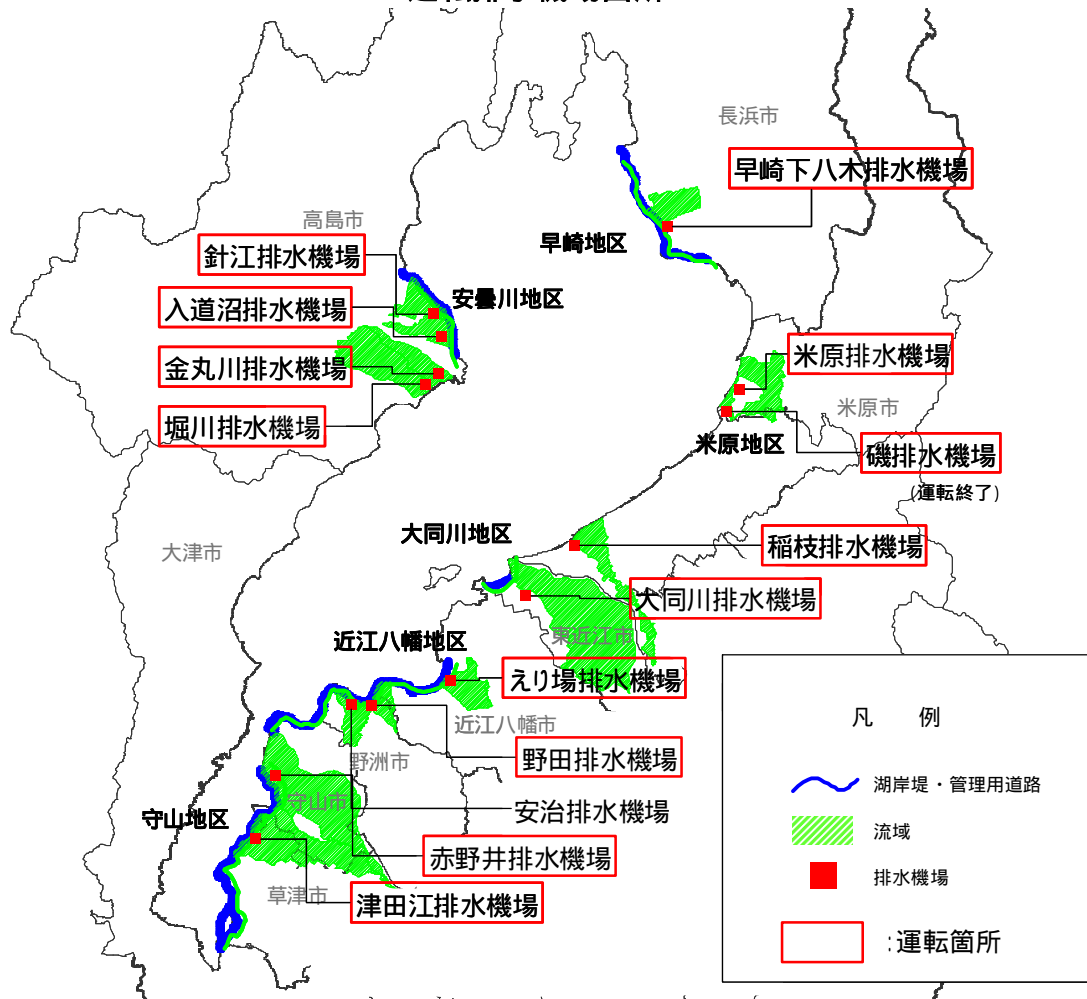
副所長 松永太智夫

住 所：大津市堅田2丁目1-10

電 話：077(574)0680

<http://www.water.go.jp/kansai/biwako/index.html>

運転排水機場箇所



区名	機場名	流域面積(km ²)	ポンプ容量(m ³ /s)	流域
早崎	ハヤサキシモヤギ 早崎下八木	4.9	4.0(2.0×2台)	早崎干拓地から田川の間
米原	マイバラ 米原	7.2	7.0(3.5×2台)	天野川から磯山の間
	イソ 磯	0.9	1.1(0.55×2台)	天野川から磯山の間
大同川	イナエ 稲枝	7.3	6.0(2.0×3台)	今川から愛知川の間
	ダイドウガワ 大同川	31.5	36.0(12.0×3台)	愛知川から大同川の間
近江八幡	えり場	6.5	1.0(0.5×2台)	津田江内湖干拓地から白鳥川の間
	ノダ 野田	3	1.0(0.5×2台)	日野川から家棟川の間
	アワジ 安治	4.5	1.0(0.5×2台)	家棟川から野洲川北流の間
守山	アカノイ 赤野井	20.9	6.0(2.0×3台)	六番川から新守山川の間
	ツダエ 津田江	12.2	4.0(2.0×2台)	新守山川から葉山川の間
新旭	ハリエ 針江	3.4	5.0(2.5×2台)	田井川から南川の間
	ニウドウヌマ 入道沼	4.2	3.0(1.5×2台)	南川から神奈川の間
	カネマルガワ 金丸川	5.3	4.0(2.0×2台)	安曇川南流から県道四津川鴨川線の間
	ホリカワ 堀川	5.7	5.0(2.5×2台)	県道四津川鴨川線から鴨川の間
計		117.5	84.1	